

愛媛県歴史文化博物館

No.50

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

平成19年度企画展

異界・妖怪大博覧会



閻魔王宮図 (福高寺蔵)

—「おばけ」と「あの世」の世界—

日本人は、死への「不安」や怪異現象への「恐怖」を、いかに理解・表現し、そして後世に伝えてきたのか？「妖怪」・「地獄」等の伝統的な異界・他界観に関する様々な資料から日本文化を見つめなおします。

SUMMER EVENT

夏休みは歴博に行ってみる！？

学芸員調査ノート

- 半井梧菴法橋真像
- お齒黒道具
- 珉平焼龍文小判形皿
- 河野通直(牛福)感状

INFORMATION

歴史文化講座のご案内

南予コミュニティ・カレッジのご案内

平成19年度企画展 芸術文化振興基金助成事業

異界・妖怪大博覧会

— 「おばけ」と「あの世」の世界 —

7月10日[火]～9月2日[日]



百鬼夜行絵巻[部分](当館蔵)



稲生物怪録絵巻(国立歴史民俗博物館蔵)



生首の旌旗(宇和島市立伊達博物館蔵)



幽霊図(個人蔵)



和漢百物語<白藤源太>
(香川大学附属図書館神原文庫蔵)

「死後の世界」というものは実際には存在するのでしょうか？ヒトは死を迎えれば、物理的・肉体的には消滅します。しかし人間が「あの世」の観念を持ち、死後も霊や魂が存続すると考えてきたのも事実です。死後、子孫に祀ってもらえば「先祖」となりますし、六道輪廻の末に生まれ変わったり、成仏したりもします。このように「あの世」は人間が創出してきた伝統的な文化といえます。

また、「妖怪」や「お化け」・「幽霊」は本当に実在するのでしょうか？現実世界の中で、人間にとって不可思議な現象が生じた際に、人間がそれを理解し、安心する手段として、「妖怪」や「おばけ」というものを作り上げているのではないかという考え方もあります。ただ、我々は、過去から現在にいたるまで、科学がいかに発達しようとも、「おばけ」や死・「あの世」に対する恐怖を和らげることはできていません。先祖の代も、我々の世代も同じく、死を恐れ、「おばけ」に^{おのの}怯いてきたことはまぎれもない事実です。

今回の展示では、日本に住む人々が抱えてきた死への「不安」や怪異現象への「恐怖」を、いかに理解・表現し、そして後世に伝えてきたのかという視点に立ち、不安・恐怖を理解することが「自分が生きていること」を再認識することにも繋がると考え、展示内容を構成しました。「百鬼夜行絵巻」等の妖怪資料に加え、愛媛県内の祭りの「鬼」や怪異伝説(河童・天狗等)を紹介するとともに、「地獄」や「幽霊」など、日本の伝統的な異界・他界観に関するさまざまな資料を展示しますので、「日常の自分」を見つめなおす機会として、今年の夏休みは「異界・妖怪大博覧会」を、ぜひご覧下さい。

現存最古の牛鬼
(大洲市立脇川風の博物館蔵)



河鍋晩斎画「鐘馗図」(今治市河野美術館蔵)

[展示構成]

- ①「鬼」のすがた
 - ②伊予路の伝説
 - ③様々な妖怪(河童・天狗)
 - ④描かれた妖怪
 - ⑤あの世と地獄
 - ⑥まじないと占い
- 総資料点数：250点

[会期中の催し]

- ①企画展関連講座(講師：当館学芸員 大本敬久、定員80名)
 - 7月28日(土)13:30～「あの世と地獄—日本人の死生観—」
 - 8月18日(土)13:30～「妖怪の民俗—愛媛の怪異伝承—」
- ※申込方法：講座名・住所・お名前・電話番号を記入の上、はがきかFAX(0894-62-6161)でお申込み下さい。
- ②クイズラリー「めざせ妖怪博士！」(申込不要)
 - 8月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)13:00～16:00
- ③おばけ紙芝居の上演(申込不要)
 - 7月14日(土)～16日(月・祝)、8月25日(土)・26日(日)
 - 各日14:00～15:30
- ④体験講座「おばけかるたりに挑戦！」(申込不要・当日先着30名)
 - 8月26日(日)13:00～15:00

主催 愛媛県歴史文化博物館
 後援 愛媛県市町教育委員会連合会
 NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛
 開館時間 午前9時～午後5時30分(入館は、午後5時まで)
 休館日 毎週月曜日
 但し、7月16日[月]、8月6日[月]、8月13日[月]開館。
 7月17日[火]、8月7日[火]休館。

観覧料	企画展	企画・常設展共通
大人	500円(400円)	700円(600円)
小中学生	250円(200円)	—

* ()内は20名以上の団体料金
 * 65歳以上の方は常設展・企画展とも無料

7/14[土]
15[日]
16[月]

企画展関連

おばけ紙芝居の上演

各日14:00～15:30
場所：体験学習室
申込不要

8/25[土]
26[日]

7/22[日]

体験講座

クレヨン染めで
マイバックづくり

13:00～15:00 先着30名
材料代：200円程度 申込不要

7/28[土]
29[日]

れきはくワークショップ

分銅型土製品を
つくろう

13:00～16:00
各日先着20名
材料代：200円 申込不要



8/4[土]
5[日]

れきはくワークショップ

「紋切り」で
うちわをつくろう

各日13:00～16:00
材料代：100円 申込不要



夏休みは歴博に 行ってみる!?

8/4[土]
5[日]

企画展関連

クイズラリー
めざせ!! 妖怪博士

各日13:00～16:00
申込不要
※企画展観覧料が必要です。

8/11[土]
12[日]

企画展関連

探検!
妖怪ミュージアム

①10:00～②13:00～
各回先着10名
申込不要
※企画展観覧料が必要です。

8/19[日]

れきはくワークショップ

型抜き遊びを
やってみよう!

13:00～16:00
材料代：50円 申込不要

8/18[土]
19[日]

体験講座・企画展関連

おばけかるたとり
に挑戦!!

13:00～15:00
先着30名
参加費：無料 申込不要

8/26[日]

体験学習室が新しくなったよ

Topics

みてもみよう! ふれてみよう!



体験学習室は、5月3日より2階エントランスに移動し、子どもから大人まで無料でご利用いただけるようになりました。「むかしの遊び体験」・「古代の技にふれる」・「むかしびとに変身」・「むかしの道具にふれる」の4つのコーナーを設け、気軽に手に取って、使ったり遊んだりしてみることができます。

ワークショップ

「紋切り」でうちわをつくろう

江戸時代の紙切りあそびで、面白い模様のうちわをつくろう。
日時：6月10日[日]、24日[日]、7月8日[日]
各日13:00～15:00
材料費：100円(友の会会員は無料です。)

お問い合わせ：振興課企画普及係 tel.0894-62-6222

歴史・文書

民俗

考古

半井梧菴法橋真像

なから いご あん ほう きやう しん ぞう



年代：元治元(1864)年
サイズ：縦8.9cm 横7.4cm
所蔵：個人蔵・当館保管

とで写されたことが記されています。この信夫氏を追跡していくと、信夫氏とは江戸でいち早く写真術を広めた一人、「信夫左司馬」のことで、梧菴に写真術を教えた人物であったことも分かりました。そして、教わった写真術により、梧菴は慶応三（一八六七）年に今治城の撮影に成功しています。つまり、この写真は愛媛の写真のルーツを物語る貴重な一枚といえます。

(学芸員 井上淳)

少し髪が伸びた坊主頭に精悍な顔。がっしりとした体には、

着物の上に夏用の羽織を着ています。そして、手には中国の医学書である『医学心悟』。写された人物の存在感がどっしりと伝わってくる写真ですが、驚くのは、この写真が今から百四十年以上前の幕末に撮られたということです。この人物の名前は半井梧菴。今治藩医で、伊予国の代表的な地誌である『愛媛面影』（明治二年刊）を編纂したことで知られています。

写真はガラス湿版で小さな桐の木箱に収められています。木箱には箱書があつて、写真が江戸小石川水道街の信夫氏のも

お歯黒道具

は ぐろ とうぐ



年代：江戸時代
サイズ：耳盥 直径25.0cm 高さ20.0cm
渡金箱 縦11.7cm 横41.5cm 高さ13.0cm
所蔵：当館蔵

お歯黒とは文字通り歯を黒く染める風習のことです。江戸時代の女性は、

成人もしくは既婚のシンボルとしてお歯黒をしました。お歯黒には、鉄くずや針をお米の研ぎ汁やお酢に浸し酸化させた、鉄漿水を使います。温めた鉄漿水と、タンニンを含む五倍子粉を交互に歯に塗ることで黒く染まります。写真は お歯黒の際に使う

道具です。耳盥の上に、渡金と呼ばれる金属の板が置かれ、その上に、五倍子粉を溶く金属の容器、童子、鉄漿水を注ぐ鉄漿次が置かれています。耳盥の前面にある箱は、五倍子粉を入れる附子箱です。褐色の鉄漿水は悪臭がするため、うがい用に耳盥を使用しました。お歯黒には他に鉄漿筆などが必要で、耳盥以外の道具は渡金箱の中に収まります。明治元年に法令によりお歯黒は禁止されましたが、県内でも地方によっては戦後間もなくまで残っていました。

夏の企画展「異界・妖怪大博覧会」には、なんとお歯黒をする妖怪が登場します。一体どんな妖怪なのか？ぜひ会いに来てください。

(学芸員 松井寿)

歴史・文書

民俗

考古

*半井梧菴法橋真像について、詳しくは「半井梧菴の写真術に関する一考察」(『研究紀要』第12号)をご覧ください。

珉平焼龍文小判形皿

中央に龍と雲の線刻をもつ小判形の皿で、全面に鮮やかな黄色の釉薬が掛けられています。薄くて軽い軟質のやきものです。型に押しつけて作られ、裏面には窯道具の3つの支え痕が見られます。本資料は、松山城堀之内の武家屋敷跡から見つかりました。破片のため一部しか残っていませんが、本来は約10cm×7.5cmほどの大きさになります。

これは兵庫県淡路島に所在した珉平焼で、近世後期に賀集珉平が創業したとされています。京焼の影響を受けたやきもので、淡路焼とも呼ばれました。

小判皿は、交趾写しの型物で、黄色のほかにも緑色もあり、大きさも大小が見られます。八幡浜市の民家の道具類のなかに10枚ほどの組皿や、芸予諸島に江戸後期から近代の雑道具の一部として伝世している事例があります。

近年、兵庫県南あわじ市で珉平焼の窯跡が発掘調査されました。龍文小判形皿の型や未製品が多数見つかり、明治期に珉平焼の主力製品であったことがわかってきています。

(学芸員 石岡ひとみ)



年代：江戸末期～明治
出土地：松山市松山城跡県民館跡地出土
サイズ：残存4.3cm
所蔵：愛媛県教育委員会

歴史・文書

民俗

考古

河野通直(牛福)感状

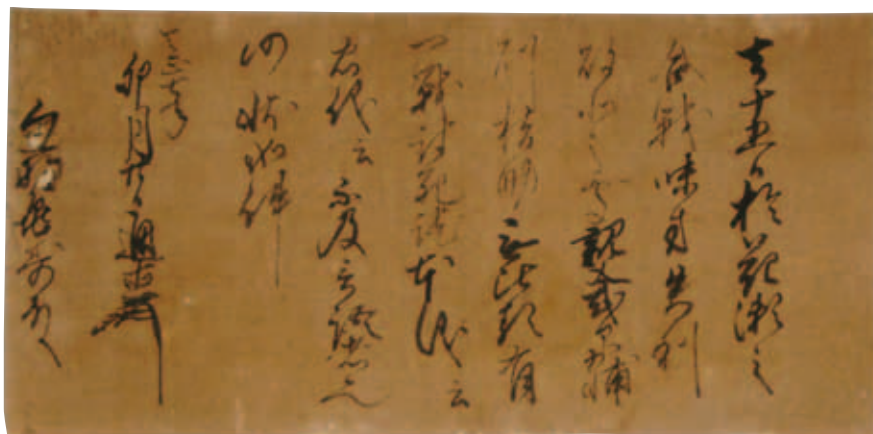
河野通直が忽那亀寿に宛てた感状。

天正七年に起きた花瀬城(大洲市北尺)の合戦で、河野方が敗北する中、忽那式部少輔(通著)が奮戦、討死したとあります。この感状はその功績を称える通直の意向を息子の亀寿に伝えたもの。忽那氏は元々忽那諸島(松山市)を本拠とした領主で、当時は河野氏配下となっていました。

この頃河野氏は、毛利氏の助力を得ながら喜多郡肱川下流域において、敵対勢力と合戦や調略戦を繰り返していました。後世の編纂物類によると相手は長宗我部氏の支援を得た大野直之の勢力とされますが定かではありません。そうした地域紛争の一端を物語る文書です。

実はこれ、河野氏の家譜「予陽河野家譜」にも引用されています。しかし、やはり原文書は家譜所収の写しからでは得られない原資料ならではの情報を与えてくれるためとても重要です。また、忽那氏宛の文書が河野氏の家譜に引かれていること自体、両者の関係や家譜の編纂を考える上で興味深いことといえます。

(学芸員 山内治明)



年代：天正七(二五七九)年四月二十日
サイズ：縦一八、〇cm、横三六、八cm
所蔵：当館蔵

歴史・文書

民俗

考古

*河野通直(牛福)感状は、企画展「戦国南予風雲録」(10月6日～)で展示予定です。

歴史文化講座

6月30日スタート!

南予コミュニティ・カレッジ

7月15日から開講!

歴史講座

- 講座番号 **1** 名誉館長歴史講座①「奈良時代の書—天平写経を中心に—」
日時：7月19日(木) 13:30～15:00
講師：山本信吉 (当館名誉館長)

民俗講座

- 講座番号 **8** 企画展関連「あの世と地獄—日本人の死生観—」
日時：7月28日(土) 13:30～15:00
講師：大本敬久 (当館学芸員)
- 講座番号 **9** 企画展関連「妖怪の民俗—愛媛の怪異伝承—」
日時：8月18日(土) 13:30～15:00
講師：大本敬久 (当館学芸員)

考古講座

- 講座番号 **12** 「発掘 南予の遺跡」展を見る
日時：6月30日(土) 13:30～15:00
講師：当館学芸員

文書講座

- 講座番号 **16** 長州征伐の記録を読む①・②
日時：8月4日(土)・9月1日(土) 13:30～15:00
講師：井上 淳 (当館学芸員)

体験講座

- 申込み不要 歴史から学ぶエコ生活「クレヨン染めでマイバックづくり」
日時：7月22日(日) 13:00～15:00 当日先着30名
講師：宇都宮美紀 (当館学芸員) 材料費：200円程度
- 講座番号 **18** 弥生体験①「ガラス玉をつくろう」 (対象：小・中学生)
19 日時：8月25日(土) **18** 10:00～12:00 **19** 13:30～15:30
講師：富田尚夫 (当館学芸員) 材料費：700円程度
- 申込み不要 企画展関連「おばけかるたとり」に挑戦! (対象：小・中学生)
日時：8月26日(日) 13:00～15:00 当日先着30名
講師：松井 寿 (当館学芸員)
- ※体験講座は小学生の場合、保護者同伴でご参加ください。

- ◆受講料 無料 (但し教材費等の実費は受講者負担となります。)
- ◆申込方法 希望する番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入の上、郵送やFAXなどでお申し込みください。
- ◆申込期限 歴史・民俗・考古・文書の各講座は1週間前、体験講座は2週間前。

お問い合わせ

歴史文化講座：振興課 企画普及係
TEL(0894)62-6222 FAX(0894)62-6161
南予コミュニティ・カレッジ：振興課 生涯学習係

教養コース

- 文学講座 (6回) 定員：60人
さまざまな文学に親しみながら、その時代の文学の特質を学び、人の心を探ります。

ふるさと再発見コース

- ふるさとおもしろ講座 (6回) 定員：60人
戦前から高度成長期までの子供たちの暮らしと文化について、その移り変わりや県内各地域の特色、それらをめぐる生活や思いについて、生涯学習センターが調査研究した内容を紹介します。
- 愛媛の文化・文学講座 (6回) 定員：60人
愛媛に関わりのある文化・文学について学ぶことにより、愛媛の魅力を探ります。
- わくわく愛媛の博物館講座 (6回) 定員：30人
博物館の専門分野を中心とした調査研究の内容を、詳しくかつ分かりやすい解説により学び、博物館ならではの視点から、ふるさと愛媛の魅力を探ります。
- いきいき愛媛の研究機関講座 (6回) 定員：30人
各分野で研究を行っている県の研究機関の成果を学ぶことにより、特色ある郷土の産業への興味・関心を深めます。

特別コース

- 福祉・ボランティア講座 (6回) 定員：30人
福祉やボランティア活動の理念や意義を学ぶとともに実践事例の紹介や体験などを通じてボランティア活動に対する理解を深めます。
- 環境講座 (6回) 定員：60人
地球規模の課題から家庭の問題まで幅広く関心が高まっている環境問題について学習し、私たちのライフスタイルを考えます。
- くらしの安全・安心講座 (6回) 定員：60人
防災、財産・相続問題、食の安全、悪質商法、介護、健康づくりなど日々のくらしにおいて関心のある様々な問題について学習し、日常生活に役立てます。

- ◆受講料 無料 (但し教材費等の実費は受講者負担となります。)
- ◆申込方法 所定の申込用紙でお申し込みください。
- ◆申込期限 6月30日 (土)

おすすめ情報

当館のホームページ (<http://joho.ehime-iinet.or.jp/rekihaku>) は、4月1日よりリニューアルしました。展示やイベントなどの最新情報の入手には、ホームページも併せてご利用ください。また、「研究室から」のコーナーでは、ブログを使って学芸員がおすすめの情報を随時発信中です。

臨時休館のお知らせ

6月19日[火]、20日[水]

博物館では年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。

臨時開館のお知らせ

8月13日[月]

お盆期間は開館します。

Museum Calendar 2007.6-8

● 休館日 ● 臨時休館日

6月							7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2	1	2	3	4	5	6	7	*	*	*	1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31	*	*	*	*	26	27	28	29	30	31	*